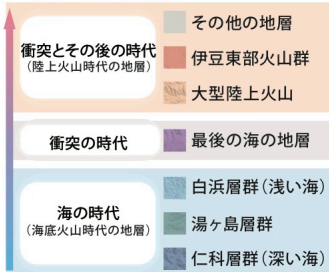


南からきた 火山の贈り物

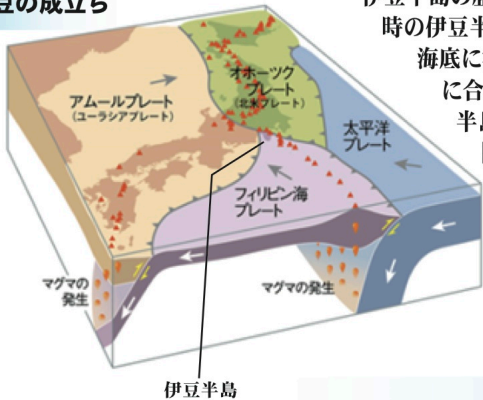
西伊豆の大地を楽しもう!

この地は、西を日本一深い湾である駿河湾に、東を高い山々に囲まれています。海に近い急峻な山々は、伊豆が海底火山だったところの名残りで、美しい縞模様をもつ地層や荒々しい岩肌がおりなす海岸線は、国立公園や国の名勝にも指定されています。海岸の東側（仁科峠）にあがると、広々とした高原に出ます。伊豆が本州に衝突した後に活動した大きな火山がつくったこの高原からは西海岸だけでなく、遠く富士山も望むことができます。こうした絶景だけでなく、温泉や駿河湾の海産物など、たくさんの「贈りもの」を楽しんでください。

伊豆半島は、大きく「海底火山時代の地層」と「陸上火山時代の地層」に分かれます。

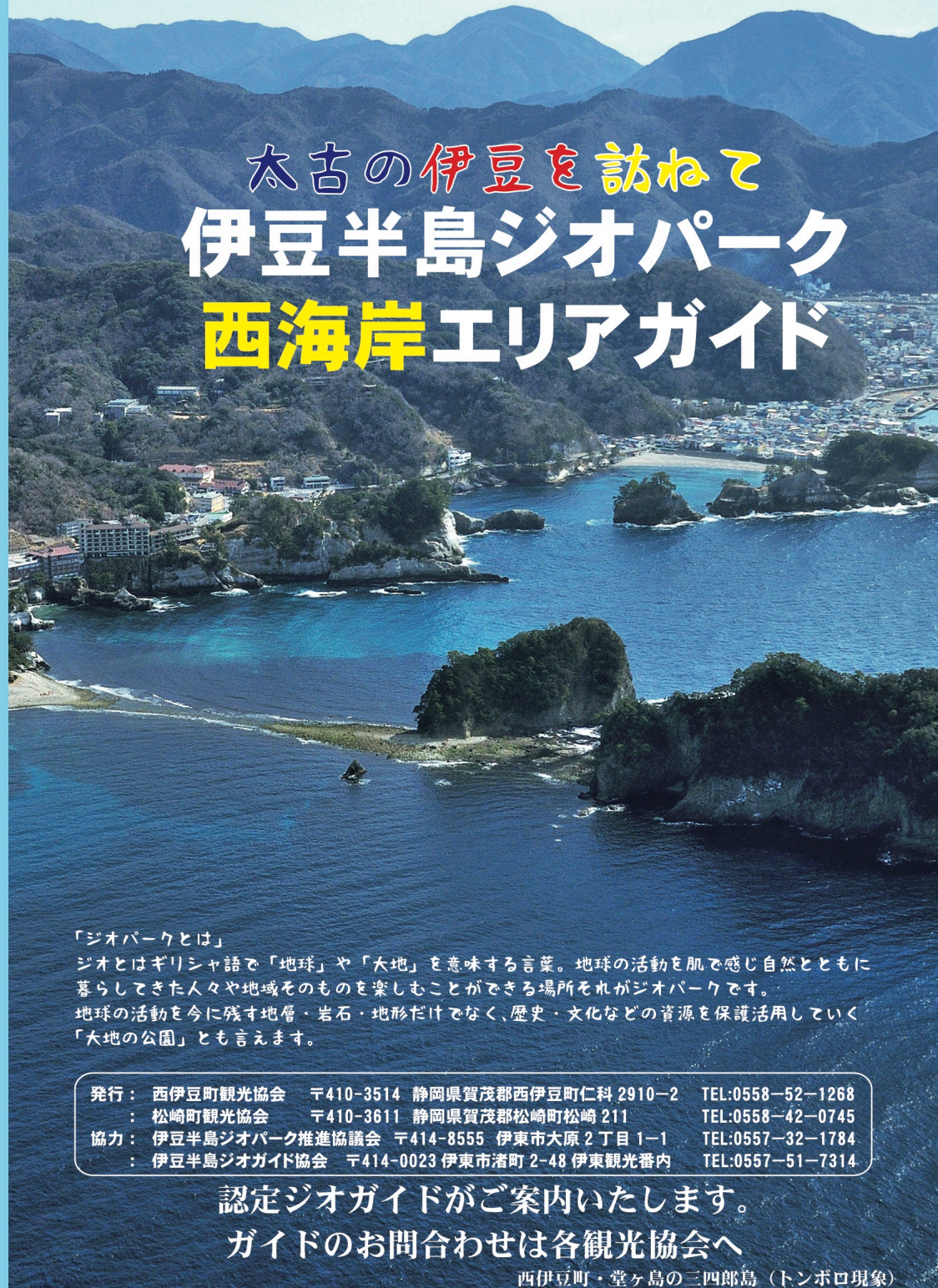


伊豆の成立ち



伊豆半島の歴史は約 2000 万年前までさかのぼることができます。当時の伊豆半島は、本州からはるか南のかた数百km先の太平洋の海底に沈む火山群でした。その後、フィリピン海プレートの北上に合わせて、日本の本州に接近、衝突約 60 万年前に現在の半島の形になりました。半島となってから 20 万年前までは陸上のあちこちで噴火が起き、天城山や達磨山といった現在の伊豆の骨格を形づくる大型火山が誕生しました。これらの大型火山の活動が終わると、日本には数少ない単成火山群の活動が始まり、現在は「伊豆東部火山群」として活火山のひとつとなっています。また、プレートの動きは現在も伊豆の大地を本州に押し込み続けていて、緩やかな地殻変動により多様な地形を作っています。

太古の伊豆を訪ねて 伊豆半島ジオパーク 西海岸エリアガイド



「ジオパークとは」

ジオとはギリシャ語で「地球」や「大地」を意味する言葉。地球の活動を肌で感じ自然とともに暮らしてきた人々や地域そのものを楽しむことができる場所それがジオパークです。地球の活動を今に残す地層・岩石・地形だけでなく、歴史・文化などの資源を保護活用していく「大地の公園」とも言えます。

発行：西伊豆町観光協会 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科 2910-2 TEL:0558-52-1268
 : 松崎町観光協会 〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎 211 TEL:0558-42-0745
 協力：伊豆半島ジオパーク推進協議会 〒414-8555 伊東市大原 2 丁目 1-1 TEL:0557-32-1784
 : 伊豆半島ジオガイド協会 〒414-0023 伊東市渚町 2-48 伊東観光番内 TEL:0557-51-7314

認定ジオガイドがご案内いたします。
ガイドのお問い合わせは各観光協会へ

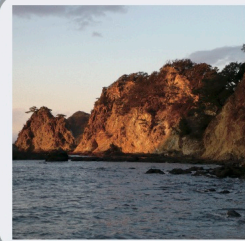
西伊豆町・堂ヶ島の三四郎島（トンボロ現象）

太古の伊豆を訪ねて



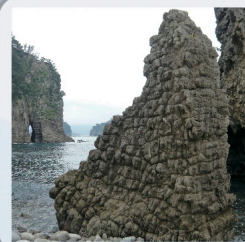
①土肥 堂ヶ島より2.0km 松崎より2.3.5km

火山の熱は鉱山も作りました。マグマに熱せられた地下水などが岩中の成分を溶かし出し、通り道に鉱脈を作りました。土肥の金山は室町時代から開発されたとも伝えられ、江戸時代や明治時代には佐渡に次ぐ産出量を誇りました。現在も当時の坑道が保存され、金鉱脈や採掘の様子を見学できます。近くにある「龍附天正金鉱（がんつきてんしょうきんこう）」もみどころです。



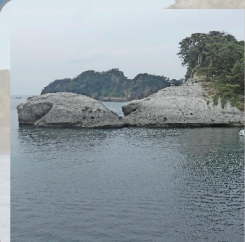
②黄金崎 堂ヶ島より9km 松崎より12.5km

「平滑な一枚の黄金の板のように見える」三島由紀夫は黄金崎を著書「獣の戯れ」の中でこのように描写しています。夕陽で黄金色に染まる岩肌の色は、火山の熱によって作られたものです。黄金崎周辺はガラス工芸が盛んな地域ですが、ガラスの原料になる珪石も火山のはたらきによってできたものです。休憩施設「こがねすと」でゆっくりとくつろいでください。



③浮島海岸 堂ヶ島より2.5km 松崎より6km

西伊豆では隆起によって本来なら見ることのできない「太古の海底火山」を目のあたりにすることができます。浮島海岸には、地下深くから海底を目指して上昇してきたマグマ（火山の根）が、何枚もの板状の奇岩となって残っています。海岸から続く燈明ヶ崎遊歩道の脇には、海食によってできた洞（ほら）に13世紀の墓があり神秘的な伝説が残されています。さらに30分ほど歩くと、古くは燈明を焚いた跡とされるあずまやもあります。



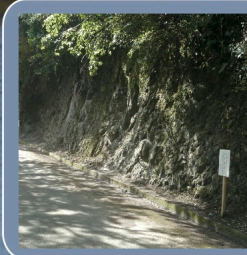
④堂ヶ島 堂ヶ島より0km 松崎より3.5km

白い崖の海岸線が美しい堂ヶ島は、海底に噴出した軽石や白い火山灰が堆積したもので、その下は黒々とした水底土石流の層です。海流による縞模様「波の化石」が美しく刻まれています。火山弾が突きささった亀島はその当時を想像しながら見てください。波の力で開けられたトンネルと天窓は「天窓洞」と呼ばれ、国の天然記念物に指定されています。船で巡るジオサイトクルーズや、近くの食堂でのB-1グルメもお楽しみ下さい。



⑤栞野公園 堂ヶ島より1.5km 松崎より2km

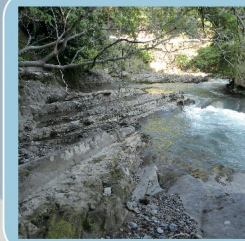
海底火山の迫力を間近に感じられる場所です。このように保存状態が良くしかも陸上から見ることもできるのは世界的にも稀です。兜岩では軽石層の上に大量の土石流が重なって炎のような模様できています。また海底に流れ出した溶岩が海水により急激に冷やされ、バリバリと砕けながら流れた水冷破砕溶岩も観察できます。断崖絶壁の上で夕陽を見ながら入る露天風呂（沢田公園露天風呂）は格別です。



⑥一色 堂ヶ島より6.3km 松崎より6km

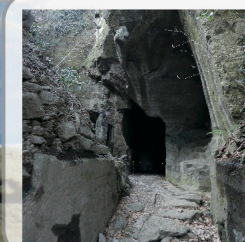
伊豆半島最古の地層です。粘り気の弱い溶岩は海底では表面張力によってチューブのように流れます。断面は枕がいくつも重なったように見えることから「枕状溶岩」と呼ばれます。道路脇の崖で見ることができます。すぐ横にはこの溶岩を押し分けてマグマが上昇した痕跡の「岩脈」も見られます。また付近の地層からは、熱帯の海に棲む生物の化石も見つかっています。伊豆半島がはるか南の海にあったことがわかります。

地質年代：2000～1500万年前
地質年代：1500～1000万年前



⑦白川 堂ヶ島より10.4km 松崎より9km

海底火山から噴出した火山灰がいったん海底に降り積もっても、その後の地震や噴火によって崩れてまたより深いところへ流れ下ります。このようにして深海に溜まった細かい粒子の地層をタービダイトと言います。何枚も積み重なっています。近くには噴火しきれずに固まったマグマが熱水などで風化し、玉ねぎのような形になった岩も見られます。沢流いで清々しい場所ですが、遊歩道が整備されていないため十分注意して下さい。



⑧室岩洞 堂ヶ島より8km 松崎より2.5km

数百年前から厚い軽石の層を切り出していた場所です。昭和29年まで操業していました。伊豆石（伊豆軟石）と呼ばれ、お台場の砲台や神社の敷石などに使われました。採石場としては珍しく中に入ってみ学する事ができます。夏場でもひんやりしていて石切場の跡は室（むろ）、貯蔵庫として利用したので、この名がつけました。中にはコウモリが休憩しているのが驚かささないでください。



⑨石部の棚田 堂ヶ島より10km 松崎より6.5km

370枚もの田が連なる美しい棚田は背後にある蛇石火山からの湧水を使っています。蛇石火山は伊豆に陸に姿を変えつつある頃の火山で、新しい火山にはすき間が多いたくさんの湧水をもたらしてくれます。棚田は地下に浸み込む水の量を減らすため、地すべりや土砂災害を防ぐ効果があるとも言われています。ここでは古代米も生産し、これを原料として焼酎がつけられています。



⑩烏帽子山・千貫門 堂ヶ島より12km 松崎より8km

雲見に広がる荒々しい岩石海岸は、海底火山のマグマの通り道が地上に姿を現したものです。山頂の「雲見浅間神社」には富士山の女神の跡が祀られていて、ここで富士山をほめると下山時に振り落とされると言う伝説が残されています。千貫門という名は、迫力ある門の姿が「千貫の価値」あるいは「浅間神社の門」というのが由来だそうです。地域の信仰を感じることができる神聖な場所でもあります。

地質年代：1000～200万年前
地質年代：200万年前～現在